

**FUJIFILM**

作成日 2008年 6月27日

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : MINIDOL R Working solution  
(ミドール R 使用液: 黒白初フィルム処理用微粒子現像補充液)

会社名 : 富士フイルム株式会社

住所 : 〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3

担当部門 : イメージング事業部 商品技術部

電話番号 : 03-3406-2835 FAX番号 03-6418-2446

緊急連絡先: (財)日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

電話番号 : 中毒110番(無料) 大阪 072-727-2499(24時間) つくば 029-852-9999(9時~21時)

整理番号 : EG321515J

### 2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学名: <原則として1%以上含有する成分を記載しています>

成分名称	含有量(wt%)	CAS No.	化審法番号
亜硫酸ナトリウム	7 - 15	7757-83-7	1-502
ヒドロキノン 【PRTR1:254号、安衛通知】	0.7	123-31-9	3-543
水	80 - 100	7732-18-5	対象外

分子式 (CAS No.): H<sub>2</sub>SO<sub>3</sub>·2Na(7757-83-7), C<sub>6</sub>H<sub>6</sub>O<sub>2</sub>(123-31-9), H<sub>2</sub>O(7732-18-5)

危険有害成分: なし

注: 化学物質名称の後の【】の中に以下の情報を記載しています(記載のない場合は非該当です)。  
「PRTR 特1」は、化学物質管理促進法 特定第一種指定化学物質、  
「PRTR 1」は同法 第一種指定化学物質、  
「PRTR 2」は同法 第二種指定化学物質、  
「安衛通知」は労働安全衛生法の通知対象物を指します。  
なお、化学物質管理促進法に該当する物質の場合、同法別表中の政令番号を併記しています。

---

### 3. 危険有害性の要約

---

<b>最重要危険有害性</b>	: 通常の取扱いでは、とくに危険性はない。
<b>有害性</b>	
<b>眼</b>	: 弱い刺激性がある。
<b>皮膚</b>	: 人によっては皮膚アレルギー-反応を起こす可能性がある。
<b>吸入</b>	: 通常の場合は有害性は少ない。
<b>誤飲</b>	: 通常の手扱いは、有害性は低い。
<b>その他情報</b>	: 成分の詳細データは原液のMSDSをご参照下さい
<b>環境影響</b>	: データなし
<b>物理的及び化学的危険性</b>	: 通常の手扱いは、特に危険性はない。
<b>特定の危険有害性</b>	: 特になし。
<b>分類の名称（分類基準は日本方式）</b>	: 分類基準に該当しない

---

### 4. 応急措置

---

<b>眼に入った場合</b>	: 直ちに清浄な流水で数分間眼を洗浄したのち、眼科医の手当てを受ける。
<b>皮膚に付着した場合</b>	: 直ちに石鹸を用いて大量の水で十分に洗い流す。汚染された衣服等は、十分洗浄した上で使用する。痛みが残る場合は医師の手当てを受ける。
<b>飲み込んだ場合</b>	: 水で口の中をよく洗ったのち、気持ちが悪くようであれば医師の手当てを受ける。
<b>大量に吸入した場合</b>	: 直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移し、安静につとめる。その後、医師の手当てを受ける。

---

### 5. 火災時の措置

---

<b>消火剤</b>	: 初期消火には炭酸ガス、粉末消火器、泡消火器等を使用する。
<b>使ってはならない消火剤</b>	: 通常の下況下では、不適切な消火剤はない。
<b>特定の消火方法</b>	: 周辺火災の場合は、可能ならば速やかに容器を安全な場所へ移す。 関係者以外は速やかに安全な場所に退去させる。 漏出した物質や消火用水等が、河川等に排出されないように配慮する。
<b>消火を行う者の保護</b>	: 消火作業では、適切な保護具を着用する。

---

### 6. 漏出時の措置

---

<b>人体に対する注意事項</b>	: 作業の際には適切な保護具を着用する。（「8. 暴露防止及び保護措置」の項 参照）
<b>環境に対する注意事項</b>	: 廃液が河川等に排出されないように注意する。
<b>除去方法</b>	: 漏洩した薬品を適切な方法で回収したのち、漏洩箇所を大量の水で洗い流す。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

- 技術的対策 : 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。取扱い後に、手や顔等をよく洗う。  
人によっては、長時間繰返し接触することによって、かぶれる場合があるので注意を要する。
- 注意事項(局所排気等) : 作業場は換気を十分に行う。
- 安全取扱い注意事項 : 作業後には、手、顔等をよく洗う。

## 保管

- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、密栓して保管する。
- 安全な容器包装材料 : 十分な強度を有するプラスチック容器を使用する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 作業場は換気を十分に行う。また、作業場の近くには手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。

## 保護具

- 眼と顔面の保護具 : 安全眼鏡を着用する。必要に応じて顔面保護具を着用する。
- 皮膚の保護具 : 適切な保護手袋を着用する。
- 呼吸保護具 : 必要に応じて、適切な呼吸用保護具を着用する。

## 含有成分の許容濃度

成分名称	CAS No.	厚生労働省告示 管理濃度	日本産業 衛生学会	ACGIH TLV
亜硫酸ナトリウム	7757-83-7	設定値なし	設定値なし	設定値なし
ヒドロキノン 【PRTR1:254号、安衛通知】	123-31-9	設定値なし	設定値なし	2 mg/m3 TWA

## 9. 物理的及び化学的性質

## 物理的状態

- 形状 : 液体
- 色 : 無色
- 臭い : 無臭
- pH : 9.3

## 物理的状態が変化する特定の温度 / 温度範囲

- 沸点 : ~100
- 融点 : ~0

## 引火性等 : 通常取扱いでは安定。(不燃性水溶液)

- 引火点 : 該当せず〔引火性はない〕
- 発火点 : データなし〔可燃性はない〕
- 爆発限界 下限 : データなし
- 爆発限界 上限 : データなし

密度 : 1.094

溶解性(対水) : データなし〔易溶〕

---

**10. 安定性及び反応性**

---

安定性	: 通常の使用条件下では安定。
反応性	: 強酸と混合すると有害な亜硫酸ガスが発生する懸念がある。
危険有害な分解生成物	: 硫黄酸化物(亜硫酸ガス等)
その他情報	: 特になし

---

**11. 有害性情報**

---

**製品に関する情報****急性毒性**

急性経口毒性(経口LD50)	: >2000 mg/kg
試験動物	: ラット
急性経皮毒性(経皮LD50)	: データなし
試験動物	: データなし

**局所効果**

皮膚刺激性	: 刺激性なし
(一次刺激性イテックス(P.I.I.))	: データなし
試験動物	: データなし
眼刺激性	: 軽度の刺激性
(急性眼刺激指数: データなし)	
試験動物	: データなし
皮膚感作性	: データなし
試験動物	: データなし
慢性毒性・長期毒性	: データなし

**成分化学物質の発癌性情報** : IARC(国際がん研究機関)のランク[1;2A;2B]物質の有無: 該当物質なし  
該当物質名: なし

**その他の情報** : 特になし

---

**12. 環境影響情報**

---

生態毒性	: データなし
残留性/分解性等	: データなし

---

**13. 廃棄上の注意**

---

自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分量の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。  
廃棄時に該当する法規【廃棄物処理法 : 産業廃棄物(廃アルカリ)、水質汚濁防止法: 生活環境項目、下水道法: 下水の排除の制限】

---

#### 1 4 . 輸送上の注意

---

輸送法規の適用なし。国連分類：非該当

----- 海上輸送もしくは航空輸送を行う場合は以下の情報を輸送会社にお渡し下さい。 -----

##### Marine Transportation

Class or Division	: Not classified as dangerous material.
UN-No.	: Not regulated
Proper Shipping Name	: Not regulated
Packing Group	: Not regulated
Subsidiary Risk	: Not regulated
Packing Instructions	: None
EmS(Emergency Schedule)	: None
Further Information	: Material not classified for transport at sea.

---

##### Air Transportation

Class or Division	: Not regulated
UN-No.	: Not regulated
Proper Shipping Name	: Not regulated
Packing Group	: Not regulated
Subsidiary Risk	: Not regulated
Label(s)	: Not regulated
Passenger and Cargo Aircraft	: Packing Instruction None max. None
Cargo Aircraft Only	: Packing Instruction None max. None
Further Information	: Material not classified for air transport.

---

#### 1 5 . 適用法令

---

下記参照

##### 主な適用法令

化審法 特定化学物質	: 該当なし
指定化学物質	: 該当なし
安衛法 危険物	: 該当なし
特化則	: 該当なし
有機則	: 該当なし
通知対象物	: ヒドロキノン
毒劇法	: 該当なし
消防法	: 該当なし
化学物質管理促進法 (PRTR法)	: 該当なし
船舶安全法	: 該当なし
航空法	: 該当なし

---

#### 1 6 . その他の情報

---

記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価について完全性を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。注意事項は当製品についての通常の手配を対象にしたものであって、それ以外については、ご使用者の責任において安全対策を実施の上お取り扱い願います。  
尚、弊社ホームページ(<http://www.fujifilm.co.jp/msds>)に最新版の製品安全データシートを掲載しています。

---

作成部門:富士フイルム株式会社 CSR推進部 環境・品質マネジメント部

---